第75号

高岡市民病院ニュース

ティータイム

ほっ！

2021年10月 12日　発行

発行：地域医療部（広報企画）

10月1日　看護師の特定行為研修開講式を行いました。

高岡市民病院は令和２年度に看護師の特定行為研修の機関として指定され、このたび２回目の研修を開講しました。今年度は、がん看護・褥瘡管理に精通した３名の認定看護師が受講します。本院では「高カロリー輸液の投与量の調整」と「脱水症状に対する輸液の補正」の２行為を学修します。

蔭浦　瑞希さん　　藤堂　由紀さん　東城　美智代さん

厚労省医政局看護課看護サービス推進室の資料より

新たに10月1日付けで入職された医師の皆さんです。

外科　部長

なかやま　あきら

中山　啓

緩和医療、消化器外科

患者さん、ご家族の気持ちに寄り添う医療を目指します。
趣味はドライブです。

精神神経科　医師

ぬまだ　しゅんや

沼田　俊也

精神科一般

丁寧な診療を心がけます。
趣味は麻雀、忍耐力を鍛えられました。

外科　医師

たにぐち　ゆうき

谷口　優希

外科一般

丁寧な診療と分かりやすい説明を心がけています。
クラシック音楽を聴くのが好きです。

産婦人科　医師

にしごおり　たかし

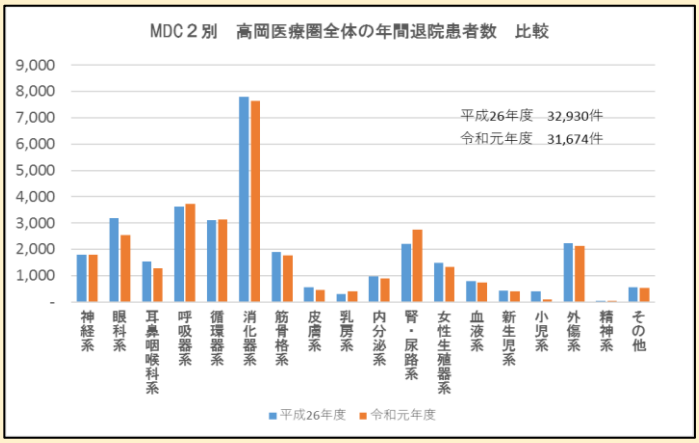
西郡　高志

産婦人科一般

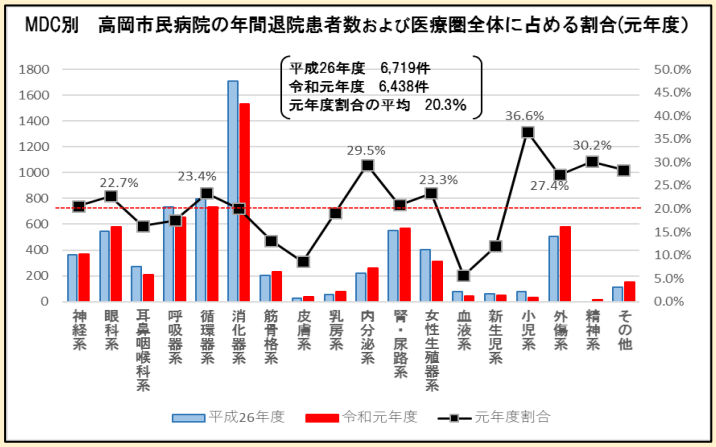
患者さんに寄り添いながら丁寧な診療を心がけます。
中学からずっとバドミントンをしています。

高岡医療圏の疾患別シェアをみてみよう

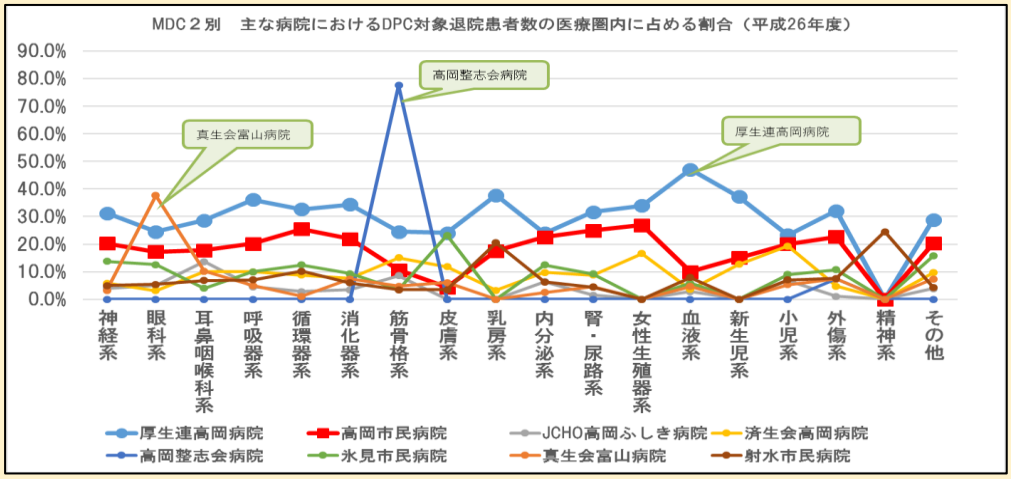
※厚労省「診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会」資料より
（DPC算定した実退院患者数）



医療圏では消化器系、呼吸器系、循環器系と続きます。５年前と比較すると全体の患者数が減少し、疾患別では眼科系が減少、腎・尿路系が増加しました。



本院の医療圏に対するシェア平均は２０．３%、最も患者数の多い消化器系のシェアはほぼ平均値です。シェアが高いのは小児系、精神系、内分泌系、外傷系で本院の特長と言えます。

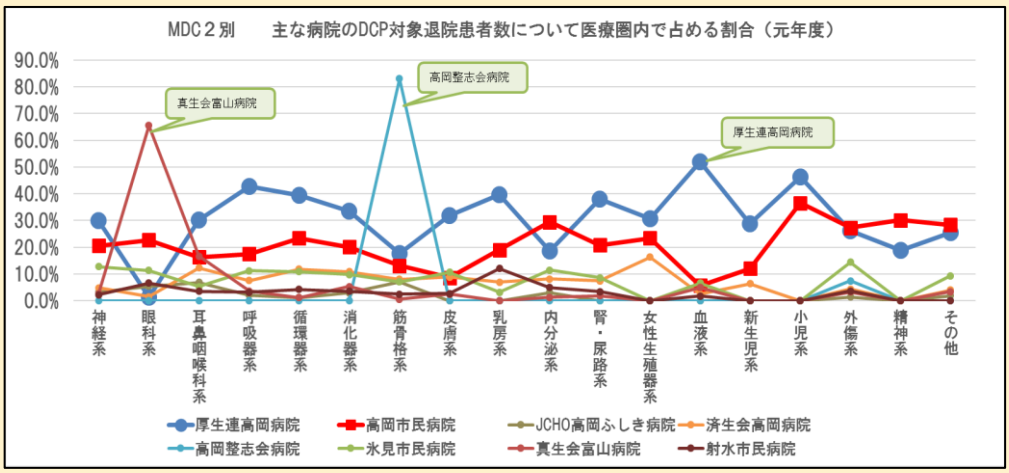


上記のグラフは、平成26年度における各病院の退院患者の医療圏全体に占める割合を疾患別に示したものです。突出しているのは、眼科系の真生会富山病院、筋骨格系の高岡整志会病院、血液系の厚生連高岡病院です。高岡整志会病院は専門特化した病院で、真生会富山病院はセンター化し医療圏を越えて患者がやってきます。

全体的には厚生連高岡病院が約３０%シェアを占め、本院は、約２０%でほぼ第2位の位置につけています。

下のグラフは、令和元年度における疾患別シェアのグラフです。５年前と同じように眼科系、筋骨格系、血液系の３病院は抜き出ています。地域からも認知され、選ばれていることがうかがえます。

５年前と比較し、眼科系、内分泌系、外傷系、精神系、その他で本院が厚生連高岡病院をおさえシェアが上回りました。



01	神経系疾患
	➡脳梗塞、脳内出血、てんかん　など
02	眼科系疾患
	➡白内障、網膜剥離　など
03	耳鼻咽喉科系疾患
	➡めまい、急性扁桃炎　など
04	呼吸器系疾患
	➡肺炎、肺悪性腫瘍　など
05	循環器系疾患
	➡狭心症、心不全、下肢静脈瘤　など
06	消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患
	➡大腸ポリープ、胃悪性腫瘍、胆管結石　など
07	筋骨格系疾患
	➡脊柱管狭窄、椎間板障害　など
08	皮膚・皮下組織の疾患
	➡蜂窩織炎　など
09	乳房の疾患
	➡乳房悪性腫瘍　など
10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患
	➡糖尿病、体液量減少　など
11	腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患
	➡前立腺悪性腫瘍、腎・尿路感染症　など
12	女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩
	➡子宮筋腫、子宮頸・体部悪性腫瘍　など
13	血液・造血器・免疫臓器の疾患
	➡播種性血管内凝固症候群　など
14	新生児疾患、先天性奇形
	➡妊娠期間短縮、低体重出産　など
15	小児疾患
	➡熱性けいれん、川崎病　など
16	外傷・熱傷・中毒
	➡頭蓋内損傷、転子・大腿骨骨折　など
17	精神疾患
	➡急性アルコール中毒　など
18	その他
	➡敗血症　など